

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。  
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。  
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。  
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

## 危険

設置場所の注意：パイプベンダーが転倒したり、地面の沈み込みの恐れがある軟弱な地面、凹凸の地面、傾斜のある地面等には設置しないでください。転倒や加工部品の落下等で重傷、死亡事故の原因となります。

作業者の注意：作業される方は必ず御使用前に取扱い説明書を熟知し本製品の使用方法をよく理解してください。さらに各部の操作に慣れ、圧力の調整作業をゆっくりと慎重に行える方が作業してください。不慣れな方は重傷、死亡の事故の原因となります。

本体の分解、修理、改造はしないでください。

## 警告

- ・本製品は、パイプの曲げ加工作業することを目的として作られています。
- ・本来の用途以外で使用すると、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
- ・使用前や定期的に、損傷・破損、作動不良、異音、油圧オイルの漏れなどの異常がないか点検してください。
- ・使用中、損傷・破損、作動不良、異音、オイル漏れなどがある場合は、ただちに使用を中止してください。
- ・異常がある場合、お買い求めの販売店までお問い合わせください。
- ・油圧ホースを無理に曲げたり、縛ったり、物を載せた状態で使用しないでください。
- ・作業中、作業手順や周辺の状態への安全確認を怠らないようにし、事故に注意してください。
- ・使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
- ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- ・直射日光、暖房器具や温度上昇する機器の側で使用しないでください。
- ・本製品は、屋内専用です。屋外での使用は止めてください。
- ・屋外での使用は、本体故障、損傷・破損、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・能力を超える使用はしないでください。破損及びケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・設置場所の作業環境温度は 0℃～ 40℃以内です。  
0℃以下はオイルが硬くなり作動不良の原因となります。
- ・設置場所はチリやホコリが多くある場所に設置しないでください。シリンダーやポンプにゴミが付着するとオイル漏れの原因となります。
- ・水気のある場所、水が掛かるような場所に設置しないでください。



## 警告

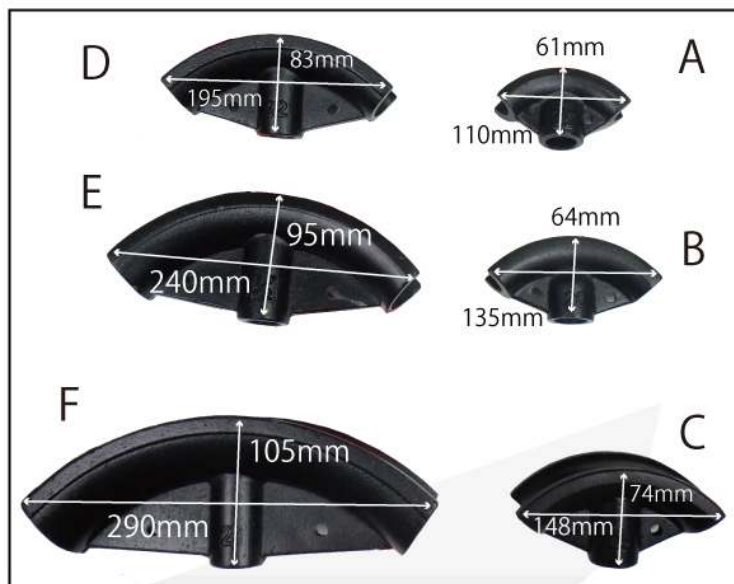
- ・加工部品の分解や圧入などは、サービスマニュアルや加工部品の取扱説明書に従ってください。
- ・加圧中に作業を中断するときは、必ず圧力を抜いてください。  
加圧した状態で放置することは、予期せぬ事態を招き、本体故障、損傷・破損、加工部品が落下・飛散し、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・加圧中は、揺すったり、衝撃を与えたりしないでください。加工部品が落下・飛散等、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・分解や圧入時に生じた不具合や、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対して、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
- ・圧力を掛けるときは、加工部品に対して垂直方向に真っ直ぐ、中心に圧力を掛けてください。斜め方向や、中心から外れた位置で圧力を掛けないでください。誤った状態で圧力を掛けると、加工部品が落下・飛散し、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・加工部品は、圧力が掛かっている状態から取り外されると急に圧力が抜けて加工部品が落下・飛散し、ケガや事故の恐れがあるので取扱いに十分注意してください。
- ・リリースバルブを緩める時はゆっくり慎重に操作し、急な操作はしないでください。  
加工部品が落下・飛散し、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- ・点検、保管する場合は必ずポンプ及びシリンダーの圧力を開放して無負荷状態にしてください。

## セット内容



## パイプ適合規格サイズ

アタッチメント	呼び径	インチ	外径
A	1.5 A	1/2	21.7mm
B	2.0 A	3/4	27.2mm
C	2.5 A	1	34.0mm
D	3.2 A	1-1/4	42.7mm
E	4.0 A	1-1/2	48.6mm
F	5.0 A	2	60.5mm
G	6.5 A	2-1/2	76.3mm

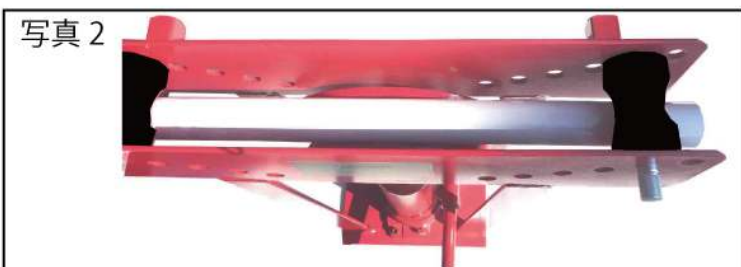
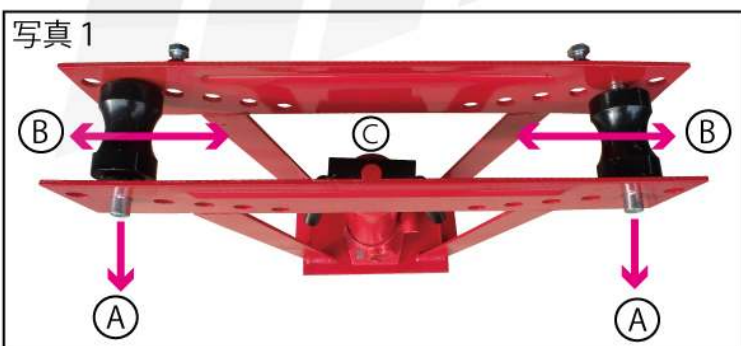


### ※ご注意

パイプベンダーのご使用には技術が必要になる為、製品の使用方法をご理解の上、お求め下さい。  
 材料とパイプの太さによっても曲げられる肉厚は変わります。(この商品はガス管等、肉厚の厚いもの仕様です。  
 単管パイプ等の曲げ加工には適していません) また、パイプの材質・厚さ・太さにより曲がり方が異なります。  
 弊社では詳細データ等わかり兼ねますので、あらかじめご了承ください

### 使用方法

- 曲げるパイプの太さに合わせてアタッチメントを選択して取付けます。(C)
- パイプの曲げ角度に合わせてローラーピンを抜いて(A)位置を調整します。(B) (写真1)
- ※アタッチメントの取付の向きに注意、ローラーピンを確実に差し込んでください。  
 斜め方向や、中心から外れた位置で圧力を掛けしないでください。誤った状態で圧力を掛けると、加工部品が落下・飛散し、ケガをする恐れや事故の原因となります。
- 曲げるパイプをローラーとアタッチメントの間に入れて、パイプを曲げる位置にセットします。  
 ハンドルで圧力弁を右に回し弁を締めます。(写真3) ハンドルを挿し込みポンピングでパイプを曲げます。(写真4) 曲げ作業終了後ハンドルで圧力弁を左に回し弁を緩めます。(写真3)
- ※圧力をかける時は十分に注意してください。
- ※パイプベンダーの曲げ角度は最大約 90 度です



# 油圧ポンプのエア抜きの方法及びオイル量に付きまして

- ・スムーズに上昇、下降しない場合はエアの混入又はオイル不足の場合があります。以下の点検作業を行ってください。

## 油圧ポンプのエア抜きの方法



1. シリンダーを一杯まで伸ばします。(図1)  
油圧開閉バルブを緩めてゴム栓をはずします。(図2)  
シリンダーを押さえながら下げてエアを抜きます。(図3)

**注意：この時にエアとオイルが出ます。**

**ウエスを用意してください。**

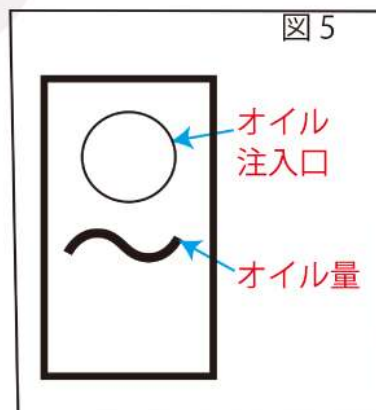
上記作業を2～3回繰り返してください。

オイル量を確認して少ない場合は補充してください。

ゴム栓を元に戻して。



## オイル量の点検補充



1. オイルが少ない場合はオイルを補充してください。  
シリンダーのオイル注入口のゴム栓を外してオイルを注入します。(図4、)  
オイル注入口のすぐ下までオイルを入れてください。(図5)

使用オイル：作動油 ISO VG32

**注意：オイル補充後にエア抜きの作業を行ってください。**